

びっぴだより

No.1 2009.1.29

雪の中でも木の冬芽は少しづつふくらみ、春の足音を待っています。
今日はどんな素敵なバッチカ出来上がるのかとても楽しみです。

- ④ 4月10日(金)のびっぴ初回は親子一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っております。
- ④ 登園時間は9時30分、降園時間は12時30分です。今から少しづつ生活リズムを整えていきましょう。
- ④ 4月・5月の保育は火曜・金曜の週2回です。子どもたちの様子を見ながら週3回へ移行していく予定です。
- ④ 春までにご家庭で用意していただくもの
 - ・ 着がえ(靴下・パンツ)、帽子、雨がっぱ。必要の方はオムツ。汚れものを入るビニール袋。これらをひとまとめにして子どもが自分で背負えるリュックサックに入れ、毎回お持ちください。
 - ・ 泥んこでぬれたりするため 橙色の運動靴 (スニーカーなどに入れリュックサックと一緒にこれも毎回お持ちください。)
 - ・ 全ての持ちもの(靴、おむつ、くつ下にも)に記名をお願いいたします。
- ④ 今日お渡した健康調査表は、それぞれ一日体験入園の日にご提出をお願いいたします。
- ④ 何か急なご用がありましたら、速慮なく携帯電話へご連絡ください。
 - ・ 中澤真弓
 - ・ 斎土美和子



ひらひらだより

No.2. 2009. 4. 10

うまれたて

あげほゆりこ

おひさまのあいずで めもさましました
 さなぎのゆりかごから とびだし ゆっくりはねをのびました
 (いまだ!) わたしは かぜのふねのりしました
 だいすきな だれかに であうために ……
 あたらしい「きょう」です あたらしい「わたし」です!

: のぼらうた くらげのこ

2009年春を迎えました。ひらひは三年目に入ります。新しいメンバーで紡いでいく一日一日が どんと新しい一年になるかとても楽しみです。大切に育ててこられたお子さんを 初めて集団生活に送り出されるお父様お母様は不安なこともおありでしょう。いつでも一緒に歩んでいるつもりですので気軽に声をかけて下さいね。また今年も継続メンバーがたくさんいらっしゃるのだからきっと助けて下さったり 助言して下さいる方も いらっしゃるよ。子どもも大人もみんなが自分らしく、補い合い助け合い育ち合い、ほんとできるひらひの一年になるといいですね。

人生の春の訪れのような二・三歳児。ついこの間までよちよち歩きをしかたをしゃべっていた子どもが いつのまにか手足もすりと伸び 動きもしゃべりてきて もう立派な幼児であることに 驚くことがあります。『自分が自分になる』二・三歳児の心の中には どんな夢や 笑いや 涙が入っているのでしょうか。子ども達は一つひとつ 親から 旅立っていきます。ひらひの子ども達は 森の力 絵本の力 仲間のカ…をいただいて 旅立ちのイメージを作っていくのだから。行きつ もどりつ…をしながら “自分” を作っていきます。冒険 旅立ちの背景には “いつかは戻れる母港” への信頼が必要です。出発のイメージは必ずしも “旅立ちゆく” ばかりではなく “母港” の暖かさも確認することも含みます。ひらひの子ども達が どんな出発をしていくのか 共に楽しみに待ちまらうね。 “母港” の役割も育み手から ……

: 真弓



田んぼのあぜ道では オオムシアゲハの一面に青い花を咲かせ、日に日に園が暖かく感じられるようになってきました。今、田んぼでは 稲の苗床作りをしています。4月始めに バケツの水につけて 稲の種もみかきも少しして芽を出すと、芽の出た種もみを苗床に蒔いて、五月末ごろ 苗が伸びたらはいよいよ田植えといたします。田植えの前にも 気持ちいい田んぼのあぜ道を みんなでお散歩したいなあ。畑には みんなで何を植えようかと。今年もひらひで 食べるおいしいもの、育てること、作ること、食べること、たくさん楽しんでいきたいと思っております。

: 美和子

お知らせ

・一学期の保育日

4月 10(金) 14(火) 17(金) 21(火) 24(金) 28(火) 日
 5月 8(金) 12(火) 15(金) 19(火) 22(金) 26(火) 29(金) 日
 6月 2(火) 5(金) 9(火) 12(金) 16(火) 19(金) 23(火) 26(金) 30(火) 日
 7月 3(金) 7(火) 10(金) 14(火) 17(金) 日

- ・保育時間は 9:30~12:30 です。新しいお友達がひらひに慣れるまで、しばらく 12:30 降園です。
- ・保険料… 火曜・金曜の週二日の保育日に対する年間保険料を、お一人3950円、4月の保育料と共にお込みいたします。お原真いたします。(なお、保育日が週三日に増えた時点を、その分の保険料を集めさせていただきます)
- ・新入生の方へのお便りの中に誤りがありました。申し訳ありません。
 倉士美和子 携

新スタッフ紹介

(山崎のアドレスからご覧ください)

本城 真之介さん (しんさん)

この春より 軽井沢町民になられた4児のお父さん。ダッチオープンに詳しく、焼き火料理もたくさんご存知の才媛子…うーん 楽しみです! これからどうぞよろしくお原真いたします。





ぴっぴだより

No. 3. 2009. 4. 28

ねがいごと

あいたくて あいたくて
あいたくて あいたくて ……
きょうも わたげを とぼします

たんぽぽはるか

(のはらうたⅢ くどうはみこ)

柔らかな光に包まれているようなぴっぴの森の春……一番小さな紗菜ちゃんがお母さんに会いたくって涙…気に入ったものをしっかり握って離さず遊びへの気持ちは大きいのだと感じます。大好きな絵本は涙を止めて見ています。慧海くんが「大丈夫？」と紗菜ちゃんに声をかけています。湖晴ちゃんは「どうしたの？」と紗菜ちゃんをのぞいてレンギョウの黄色い花びらも紗菜ちゃんが持っていたバケツの中に入れてあげました。風登くんは④に抱かれた紗菜ちゃんの背中を抱きしめるように寄り添っています。遊びながらのどとどと気にかけている様子の大李くんと麗史奈ちゃん……新しくぴっぴの仲間になった6人…お友達のことで精一杯の一人ひとりがお友達に心を寄せてくれている。そんな6人に自然に声をかけてくれたり、手を引いてくれたり、教えてくれたり、譲ってくれたり…優しいお友だちで受け入れている継続した子どもたち…

ぴっぴの一日は時間の流れがだいたい決まっています。来る日も来る日も同じようなことをするうちに「次にやることはこれだね」とわかるようにちゃんと待ち受けていたものがやってくる安心感に満たされています。やがて新しいことも歓迎できるようにするの自然の流れです。

時間の区切りは優しい鈴の音か大人の声…「さよならみんなさよなら」は手をつなぐという単純なことですがその日一日いっしょに心弾ませたお友達と手をつなぐことで何か親しい気持ちを味わう時です。

穏やかな静けさの中で子ども自身が必要としていることに心をかけ、心を込めて子ども達と向き合いたいと願っています。

：真弓



ぴっぴの一日は、朝焚き火の火を点けることから始まります。「おはよう！」とやって来る子どもたちには、松ぼっくりや小枝を投げ入れたり、「火煙が来るよ、逃げろ！」と走ったり、上手に火との距離感をつかんでいます。近付き過ぎると熱い、危ないといふのは、焚き火に毎回接することで体感しています。ペチペチ火がはせる音、香ばしい香りは食欲を刺激、焚き火で火焼いたパンや焼おにぎりはあつという間に「おわり！」のリクエスト。真さんが作ってくださるタラコオブシの野菜料理も大人気。みんなの楽しい食欲には毎回驚かされます。これから野菜の種まきや苗植えをしたり、田んぼの一年を体験し、食べることでその材料を作る過程も楽しんでいきましょう。

：美和子

- ・田んぼの種苗は今3センチほどにスラスラと育っています。田植え遠足の日程は、これからの天候により苗の成育状況で変わりますが、おおよそ5月22日(金)か29日(金)あたりを予想しています。この日は親子参加に「お楽しみ会」を予定しています。
- ・田んぼ遠足の前にスタッフと子どもたちだけで田んぼへお散歩に行く日を作ろうと思います。5月12日(火)か15日(金)あたりでお天気よきそうの日を見つけて直前に連絡させていただきます。この日は田んぼにて集合、解散になりますのでよろしくお願い致します。
- ・田んぼ遠足、田んぼ散歩については連休明けにプリントをお配りします。
- ・毎回お持ちいたっているリフレクサックの中味について、着がえは寒暖の調節のできるものが持ちものに記名がされているか、忘れもの用ビニール袋が入っているか等、一度点検して下さるよう、お願いたします。
- ・追分宿の小さな軒家をお借りし、一年間かけて地域の皆さんとともに、家づくり、暮らしづくりのワークショップを行います。第一回目を5月16日(土) 10:00~2:00に行う予定です。こちらも連休明けに詳しいプリントをお配りします。





ひらびたより

No.4 2009.6.2. ♪

しっほ° バイバイ

あたまたやくしわたる

ひらひらゆれる しっほ°がじまん

でも ちとばかりはつたら しっほ°と わかれ ……

しっほ°バイバイ さびしいな でも ちとばかりはうれいもんな

でも さびしいな でも うれいもんな ……

ほくほ いま でも でも …… と おもっている

(のほらうた IV <どうしてね>)

今年も 21世紀の音が聞こえるように列された。森の中では抜け殻をたくさん見つけることができず。先日 ひらびたハウスの横に小さな畑ができました。それぞれのやり方で 耕したり 穴を掘ったり 水をかけたり …… そして 絵本「ちいさいはな」を読んであと 種まきや 苗植えを 楽しみました。

穴を掘った時 土の中で眠っていたセミと一緒に掘ってしまいました。そっとそっと 土の中にかえし エヤワルミの花のおふとんをかけ「おやおはす〜い」と子ども達と声をかけました。こんな小さな小さな出来事が 自分も命の集りの一つだということを 実感していくのでしょう。"命に取り囲われている。森の中で いろいろな生命体と響き合い、コミュニケーションし合うのが 大人よりも 得意なのではないかと思ったり。だから 子ども達は 慣れると、森の中では 気負いのない いい表情をするのではないかと感じました。一つひとつの命の集合体でできている 森は 手に一つひとつの個性の集りだ。多様です。落ち葉の一枚一枚が 違う所に 一人ひとりが違って 当たり前ということも 自然に理解できるような気がしました。だから 私達大人も 肩の力がぬけ 楽に笑い 優しい思いが 感じられるかもしれません。各々の 自尊心が 自然に育まれていく 森の 教育力は すごい ……

：真弓



田植えの遠足お疲れさまでした。足の裏の泥の感触はいいのでした。小さな小さな稲苗を田んぼに植える時、どんなことを感じられたのか。昨年と比べるとお米を4月末に田んぼに苗床に蒔き、一粒ひとつぼから小さな芽が 出た時の感動。それから約1ヶ月の間、毎日水の量を調整して大切に育て、とうとう 田植えの日を迎える時、いつも 崇高な気持ちになります。この一本一本が実とおおはそ お茶碗一杯のお米になる…何という自然の不思議。小さな苗の一本一本が いておいて 仕方ありません。大切に大切に「大きくなってね」と 苗を植える時、最後に 水を田んぼ一杯に張ると、ひんと 皆伸びた苗の姿の誇らしげな姿。その風景を前に いつも あっちゃん と 抱き合って 喜ぶことができます。

「田植え」の仕事を田んぼにお手伝いしてあげてありがとうございました。これは 泥にこぼれてはよく、食べるものをこの手で作り出すための大切な仕事です。今年もこれから日々 草取りをして、実りの秋を迎えられるよう、田んぼと稲と向き合っている と思います。 : 美和子

7月31日(金)~8月2日(日)、飯沼センターにて 第2回 長野県県外 保育研究会が開かれます。普段は 保育者の研究会ですが 夏休みということもあり 森のようちえんに関わる ご家族みんなで参加できるプログラムにしています。昼間は 子どもたちと活動、夜は活動の振り返りや 意見交換をし、大人の交流の場にも なります。参加は自由ですが よろしいなら 予定ください。参加費などは まだ 未定です。詳しいことは 7月24日 お知らせします。

子どもたちをより深く理解し合うために、下記のように 個人面談を計画しました。ご都合がつかない方は どちらかと 交替していただきます。その旨を スタッフまで お知らせください。短い時間ですが 面談中の 意見は 交替していただきます。よろしくお願いします。

	4/23(木)	26(金)	30(木)	7/7(木)	10(金)
12:45~13:00					
13:00~13:15					
13:15~13:30					





ぼくは ぼく

からす えいぞう

ときどき ぼくは ほんのあこし いろいろのはねがほいたと
 おもったりする ほんのあこし いいこえどうたえたらと
 おもったりする でも これが ぼくだと とんでいく

(のはらうた IV くどうはねこ)

「おてぶしてぶし…」 「おてらのつねこさん…」 「ととちう よがあげた…」
 「あぶくたつた にえたつた…」 「さよなら あんこうもち…」 ひっぴの子ども
 たちは たくさん 「わらべうた」を 歌って 遊んでいます。

わらべうた は スキンシップの 遊びが多く 自然に体に 触れ 其の体を
 動かして 見つめ 表情の おかしさを 楽しみます。 どうすれば うまく 子ど
 スキンシップ できるかを 知らなくても 一体感を 楽しみます。 軽快な 言葉の
 リズムが 自然に 体の動きを さげよう する。 また わらべうたの 遊びの中
 刺激あるところは 体のツボと 言われているところが多く その機能を 発達
 させたいと 願った 昔の人達の 知恵が 生きている ようです。

親が わらべうた を 知っていると 育児が 楽に なる と思います。 「ほう
 ほう かいと かいと かいと かいと」 「かいと かいと かいと かいと」 「かいと かいと
 うたがあることで 感情が ストレートに 子どもに 向かう 余裕と エモア を
 もって 子どもに 対応 できた のであらね。 「おうちの人 一子一孫 へに ぶら
 べた」 なんて 子どもが 泣きべそ を かいている時 歌ってあげると 痛みも
 和らぐ ようです。 「たんぽぽ たんぽぽ ぶーん やーまへ とーん けい
 人が 自然と 其生 する 草を 子どもたちに 伝えたい 願いを こめた わらべ
 うたも たくさん 残っています。

「小さい子は エヘエヘと 育ちの せいで 横に ぶっくら ぶっくら と 育て
 るもんだ」 遠野の わらべうた を 今に 伝えている 阿部やエさんの お話 でした。
 ぶっくら と 子育て … 何だか おいしく 楽しそう ですね。

: 真弓

田んぼの 稲苗 は スクスク と 大きく 伸び 初夏の 風に ゆれて います。 夜の うちに 湧き水
 から 水を たっぶり 入れると、 朝には ほみほみ と 水を たたいて 田んぼが キラキラ と
 光っています。 毎朝 その 水を 止めて、 昼間は お日さまに 水を 温めて もらうと、 冷
 たい 湧き水が お湯の ように 温かくなり 稲の 成長を 促してくれる のです。 朝、 水を 止
 めると、 田んぼには 甲鳥、 鶯、 ツバメ や セキレイ … と 様々な 鳥たちが カエリ や 虫を
 ツルんで いて 朝ごはんの 真最中。 たたし 田んぼには 鳥の 姿は 見られ
 ません。 除草剤 や 防虫剤 が 撒かれている ため、 他田んぼには 鳥の エサに なる 生き物
 が いない から です。 農業の 影響 だけでなく、 湧き水には 田んぼの 生活排水が 少
 浸透 して 山前 へ 汚れて きて います。 前に 借りていた 田んぼでは 水が 泡立ち、 調べて
 みると 有害物質が 含まれて いて 稲作が できなくなると 思いました。 田んぼの 養分
 は 循環 していて、 知らず知らずのうちに 自分 へ 戻って くる という こと… 豆粒では 理解
 している もりでも、 田んぼの中 へ 入って 田植え や 草取り を する うちに、 この 水を 大切 に して
 いきたい と 思ふ と 体感 できる 気が します。 「この 水は どこ へ 行く の？ 田んぼに やさしい
 シャンプー は 入る の？」 田植え に 来て くれた 小学 1年生 の お風呂で 髪を 洗っ
 ている 時の 言葉 です。 知識 だけでなく、 実感 に ついて 子供 へ 体験 を 学ぶ に なる … と
 思える 言葉 です。 ぜひ ひっぴの 遠足 の 日 へ 行って ください。 お日寺 間のある 寺に 親子で
 田んぼの 苗の 成長を 見に行きたい ですね。 田んぼの 水に 足を 入れて みてくださいね！

: 美和子

・ 夏休み 田んぼ 開放日 の お知らせ

夏休み 1日、 田んぼ 草取り を していた ため 自由参加 の 田んぼ 開放日、 お父さんや
 お友だちも お誘い あわせ へ、 田んぼへ お出かけ ください。

お寺) 7月18日(土) 10時~12時 二都合のよい時間にお出かけください。
 お昼にかかろ方は 各々 昼食 や 飲み物 を 持参 ください。 自由参加 で 保険 は 適用
 されませんので、 ご注意 ください。

・ 保育中、 お散歩 へ 出かける 時 など、 飲み物が 必要に 暑さ に なる とき、 毎回
 子どもが 自分で 飲みやすい 水筒に お茶 を 入れて 持参 して いただけ ます。 お願
 い いたします。 ランチ 時には お茶 を 用意 します。 量は たくさん で なくとも 結構 です。

・ ひっぴの 外遊び では 森の中、 火の せわり、 様々な 場面が あります。 子ども たち
 衣服 は 夏でも 長そで 長ズボン (足首 まで かくれ ずとも) 着用 で お参 願
 い いたします。





ひびだより

No.6 2009.9.8



けっしん

かぶと てっお

つよく おおしく いきる! それか ほくの けっしんです
でもときどき むねのやわらかいところが ぼろぼろなるのね
..... なんてかばあ

(のはらうた II くどうはあこ)

今夏は梅雨が長引きましたね。ぽかぽかお陽さまを浴びれ
ずに 夏ならではの体験も少なくなってしまうことでしょう。そんな
子ども達は、必要な分だけ育ちました。表現や体にその証しを感じ
られるでしょうね。みんなの成長を共に喜び合ったから二学期を歩ん
でいきたいと思います。

夏の終りに私は8日間 バングラデシュに 行きました。カンジス川を舟で下
村々に寄り 交流し又 小学校で 授業を担当し 一緒に学び遊ぶ
歌いました。タッカでは ストリートキッズの 青空教室 などで遊ばれた。
たくさんのお会い たくさんのお集まりに目を見張り たくさん考えた
胸が痛み たくさん笑い たくさん 温かいものをいただいた 貴重な旅
でした。私の心は動きっぱなしでした。感じたことを少しづつ言葉にして
周りにはいる子ども達や大人の方達に伝えたいと思っています。

この夏、ひびの来年度について スタッフで話し合いました。小まは
緩やかにはおちえんが 森の力を借り 子ども達の "今" 必要だと
をいかに援助していくか、ひびの働きを 継続して提供していく重
要性を感じています。

いつも話しているように 幼児期は "根" を張っていく時期です。それは
上だけではなく "下" に、地中に深く根付いていく時期でもあります。
どれだけ逞しい根を張ることが出来るかに 人生がかかっていると言
っても過言ではありません。成長は根から始まり 速成栽培は
ないのです。美しい花を咲かせ 土を潤す実を下さるには 一定の期間が

必ず必要であり それが根によって決まることは 自然の理です。そのため
子どもを信じること 別の芽を受け入れる勇気を持つことだと思います。ひびの
おぼろげさは 親も スタッフも いつも 「子どもを信じる」ことから 出発する気風
が 伝わっていることです。

一緒に歩み続けるためにも 三才児保育に 一歩踏み出した 2009年に
引き続き 2010年は 4才児保育をスタートするべく いたしました。継続希望
の方は 9/16(水)までに 願書の提出を お願いいたします。 : 真弓

田んぼの 稲たちが 重そうに 稲穂の頭を垂れ始めました。秋の風に 金色
の稲穂が揺れています。このころ 悩まされているのは、モグラの穴! あぜの
土手には ミミズを食べにやってくるモグラの穴から、田んぼの水が抜けてしまうの
です。毎日モグラにたきばらぬ モグラの穴埋めに追われています。これも 農業を
使わない田んぼならではの、ミミズやモグラとも仲良く お米作りをしていると思
います。この秋、ひびの子どもたちが、久しぶりに 様子が変わった田んぼに 対面
したとき、どんな顔をするのか、今からとても楽しみです。 : 美和子

・ 9月より 火・水・金曜 週三日の 保育が始まり、降園時間も 午後1時になりました。
食費が4000円に上げますので よろしくお願いたします。また 水曜日の
保険料 1300円を集めていただきます。(なお、お弁当の状況は 9月
9日の食費については 後日 改めて お知らせさせていただきます。)

・ 9月25・26日にお泊り会を予定していましたが、インフルエンザの状況によって
延期にする事も考えられます。様子をみてまた後日 お知らせします。

・ このころ 朝夕急に涼しくなってきました。お着がえ袋の中身は、温度
調節のできるような 衣服の用意をお願いします。また 汚れたものを
入れる、記名した スーパー 袋を必ず入れてくださるようお願いいたします。





えへん！ くりのみ しょうへい

くりばやしに ねころんで はたけうたうたってたら
レゴとがえりのありんこが

「きみ かしてそうはあたまのかっこうね」といった……
ふっふっふ おれ あしたから しゅくだい やろうと

(のぼらうたⅢ くどう はねこ)

お泊り会はお疲れさまでした。いろいろご事情で参加できなかった方
達もまた次回…… ゆるく長く「しゃべり場」を楽しみましょうね。

子ども達だけでつく 大人一人一人も「今、ここに在ること」を、でいかに紡
いでいく日々にはたらくいいなと思っております。単に仲間集まりではなく、大人
が認められ ほかに刺激を受け、生活や自分を見直し、自分の心と向き
合い、自分の好きに気づき 課題に気づき 高みへと変えられていく……

「ひびび組」が 人間の深さや厚さや 温かさを 周りに伝えていけたら
いいですね。ひびび組…… 組長は ちゅ?? 組長の仕事は何?……

人間的魅力で 組員を増やし しっかり育て ちよめ上げる。組員?のため
なら 自分を投げうってでも 責任を取る覚悟がある…… ちよめ ちよめ ちよめ
器でいいか…… がんばります!!

この 組長も 悩む 苦しむ 迷い。たくさん失敗を重ね、人をきづつけ……
だから自分が変えられたくて、日々悶々としてから 歩み続け。ご家族
をはじめ たくさんのお出での人々から 優しさや 勇気や ヒントや 癒やし……
をいただき 深い深い喜びを知り、自信は何かにあても 持てませんが
謙虚に生活することを 少しずつ 覚え…… 6月に(別)れた。お出での人々の自然
や人々や 出来事に 感謝の日々です。

ここ数年は 森からのエネルギーも たくさん いただきました。植物や木々が 養
てくれる 美味しい 空気を ゆっくりと 吸っていると いつのしか 身体の中のもの
(心の中のもの) 吐き出すことも できぬおに おてきました。「深呼吸」と言うより

「森呼吸」と言うよりも いいかもしれません。今 共に 在るこの時を 一緒に「森呼
吸」しながら 子育てを 楽しんでいきたいと思います。 真弓

ひびびの森の周りには、栗にドングリ、クサギにカマズミ…… 様々な秋の実が
色とりどり。黄金色の 田んぼの周りにも、赤い野バラの実、青や紫の野苺、
鳥たちがかたかた……とつぶんでいます。重く 頭を垂れた 稲穂の かわりに
チンチンと スズメたち、たくさんは 食べたいですね……と 祈りつつ もうすぐ 稲刈り。
森でも 田んぼでも “実りの秋”を 一緒に 体感しよう。 : 美和子

・ 9月の軽食費について

インフルエンザ流行のため、お弁当持参の ご協力に ありがとうございます。
この月の 食費、一人 800円を 10月の 保育料 納入袋にて 返金させて
いただきます。

・ ピクニック「お父さん・お母さんの 森の時間」

10月27日(火) 10時～12時 星野 野鳥の森にて

お子さんがひびびに来ている間に、素敵な森の案内人の方とともに
ゆたかり ぶどうの 森を 歩いてみませんか。お父さんと一緒にの 森の時間とは ちよめ
違った 森の時間を 過ごしてみよう。詳細は 後日 フリットでお知らせします。

・ お礼とご報告

先日、鬼いっぴが ひびびに 繋がる 皆さまから、園遊会フリーマーケットでの 売り
上げ代金を 頂戴いたしました。たくさんのお金額、そして それ以上の 皆さまの
お心づかいに 感謝の 心からの 感謝の 気持ちで いっぱいです。

本当に ありがとうございます。

スタッフで 話し合い、下記の 物を見購入 させていただきます。

- 1) ハンモック
- 2) 手作り 野外遊具の 材料(木材など)

スタッフ一同





ぴろぴろだより

No.8 2009.11.4

よるの について

こぎつね しやうじ

つきよの のはらを ひとりご ばかりに ばかりに あるきました
いろんな について つつまれました。

ほっぺの つ中の かわいい について かわいい について

いたおら いたちの やんちゃ について さあがりもぐらの ねむたい について

ひとりご について いると つきの について も ふってきま

ほっぺを そらに あけると かあんの について に について

のはらうた I くらげ

森の中で 遊びながら ふと立ち止まり「あ、カケスが鳴いている...
ジャー ジャーって聞こえる...」大人は 耳を澄ませて やっと確認。遊んでいる
のに大人より早く 聞きわける事に 「おじいちゃん...」

「あ、ゴジシだ！ 甘くて あげくて 苦くて からくて...」 一度伝えたことを
きちんと 理解して覚えている。それを 周りの人に 嬉しそうに 伝えている。

台風の次の日 森には 落ち葉が 積もっていた。「ああ、落ち葉の
D'chouなんだあ...」と 静かに 一人で見入り 感動している様子...

ぴろぴろに 一年以上いる 子ども達の 森の中の 言葉に 心動かさる
ことが しばしば あります。森の中で 遊び 時を過ごし 働きかける日々... 森の
中の 全てから さがすは 音を聞きとり 匂いを感じ 不思議、面白い、おじい、怖い、
冷たい、美しい... 教えずに伝わるほどの 感情や 感覚が 育っているようだ。それは
毎日が 積み重なって からだや 運動能力の 成長同様 心も 充分
感情を 味わい、五感を 刺激し、感情を 解き放ち しゃべりと... だんだん
ぐんと 伸びている。心の 筋肉が ついていくように 表現する方の 言葉が け
たりだ。さあがまは 研究者が「森は 刺激に 満ちているか」といかに
突出することなく マイルドである。だから バランスよく あべての 感覚を 刺激
してくれらる」と 指摘しています。そんな 豊かな 場に 適度な 距離
で受け止めてくれる 大人がいることも 意味があると思っています。 : 真弓



稲刈り遠足、お疲れさまでした。たくさんの手でざくざくと刈り取るとあつという間の稲刈りですが、
2~3週間 天日干しにして じっくり乾かしてから 脱穀、とうとう 食べられる「お米」になります。お米
同様、麦やお豆なども 刈り取ってから 口に入るまで 少し時間のかかる作物です。干してから 売先を
外す 脱穀をし、丁寧に ゴミなどを 取り除いて やっと 食べられる状態になります。先日、火田に
来た おおきい組の みんなが 脱穀の仕事をしてくれました。小さな手で 草むきと さやから
赤い宝石のような 豆をパチンと出して 箱に入れてくれます。手を動かして ながら「お仕事は大変
だね。みんなでも やると 楽しいね」という 一人の言葉に 心から 共感。昔は 田火田の 力仕事は
若い世代が 担い、こういつた 豆の選別など 家での 手仕事は、お年寄りや 子どもたちの 仕事
でした。家族全員に 大切な「役割」があったというのには、尊いことだと思っています。
ファストフード全盛の 現代、スーパーでは 何でも すぐ 食べられる物が 手に入りやすい。おいしいものを 食べる
ために、手を動かして、ゆっくりと 待つこと... そんなことも 農的暮らしの 楽しみの ひとつと 感じます。
「家庭菜園」といって トマトや キュウリなどは、すぐに 食べられる 夏野菜を 思い浮かべますが、
貯蔵のきく 大豆や 小豆などは、冬の長い 信州に 合った 作物ですね。今年の ぴろぴろの 火田では
お豆も 育ててみようかな。 : 美和子

- ④ 新しいお友だちが入園しました。嬉しいです。
 - ・川越 玲月ちゃん 2005.11.2 生まれ お父さま 信治さん お母さま 仁美さん
 - ・ウオーカー 栄カ彦くん 2005.11.29 生まれ お父さま ロバートさん お母さま 美枝子さん
- です。どうぞよろしくお願ひします。
- ④ これから冬の厳しい寒さがやってきます。氷点下の森で 楽しく遊ぶためには しっかりと
衣服の 装備を することが 大切です。真冬に向け 少しずつ 準備して いてくださいと 思います。
 - ・一番外側に 着るのは、しっかりと 防水の きいた スキーウェアを お勧めします。
 - ・手袋は 毛糸のものだけでなく、スキー用の 防水のものも、帽子は 耳まで 隠れる 暖かい
ものを、靴下は 厚手の 暖かい 素材のものを ご用意ください。
 - ・真冬は 足元から 冷えてきます。長靴では 防水が 雪用の 内側が 暖かい スノーブーツを
ご用意ください。
 - ・子どもの 衣服や 靴は すぐに サイズが 小さくなります。お下がりの 声かけ合っているとき、
やりくり できると いいですね。



びっぴだより

NO.9 2009.12.1

遊び場

こわろぎんま

くろい くろい ちのまんたか
 「おせか けねか くるえり
 リリリリ ドムか いはいかい
 くろい くろい ちのまんたか
 ひびり ひびり ぶんり ぶんり めんり
 のはらうた I くどう ちのこ

田植えから稲刈りそして収穫感謝の餅つきまで 一つの流れの中で 田んぼに向かえた一年でした。保育の営みも全く同じで、いよいよ積み重ねて 見えてくるのがほとんどです。

トイレタイムのびっぴハウスでの遊びは 森の中とは ずいぶん違う楽しさを 感じているようです。ちからだてお部屋を お片づけするの ある時「おはだけの1ーム」のおはだけをしりました。「おはだけの1ーム ジャジャ カツカツ おはだけ～」と私が 静かに歌い出ると 子ども達も 静かに歌いながら手を動かしています。1ームが「おはだけの1ーム」と命題しているように「さあ かなだけ」と一人言を言っているようです。お片づけという行事の中にも1ームと出会い 自分役割を 楽しんでいくようです。

「おはだけ」のお誕生会は、一人一人から 誕生児に プレゼントをあげます。そのプレゼントは 誕生児のために何か 願った事を考えて「つりのプレゼント」を口に出して子ども達と包みながら 誕生児に渡します。例えば「庭で見つけたカブトムシ」「おうちで焼いたケーキ」「速く走れる靴」... 見えないけれど 誕生児は 本当嬉しそうに「お礼がえり」と受け取ります。あつきの 祝福の時間です。子ども達も 自分達の手で準備したお片づけから、大人の手で楽しく生活しているように 種をいっしょに蒔いて 育てあげたいな...

この度は、母の葬儀に 皆さまからの お花を頂戴し、お礼がえりさせていただきます。延命治療を望みなかった母は 自宅に戻り 自然に穏やかに 死の時を迎えました。残された者にとっても 全てが 自然に受け止められ 静かに命を感



時と別れた。絵本「おれらんたの お礼がえり」の アナグマのように 母の知恵や工夫を 生活している中で 見つける度に 豊かに できていく。裏中では お片づけが 書き手、子ども達の 幼い筆跡は 喜んで 受け取りました。子ども達は 一つ一つの お礼がえり 頑張りました。
：真弓

いつもさようならの集まりでは、歌や手遊び、絵本の4人に輪にかけて、さようならの歌も、そしていよいよ各々座り場所を決めたら「みんなどうぞ」「お母さん、誰のお母さんか、最初に走って来るのよ。今日はお父さんが お迎えだよ...わくわくしてさうやうおめでとう。以前まゆさんと、私達はこの瞬間のために 保育の仕事をしているのもうれしい...と話して ことばをあげました。安心の基盤である お父さん、お母さんの腕の中から 一歩踏み出して、びっぴの森で 存分に 遊んで子ども達には、またこの時 大きく手を広げて お父さん、お母さんの 胸の中に 飛び込んで帰って行きます。この一瞬の 親子の笑顔の輝いて いること、帰るべき 安心できる場所がある 幸せを感じる一瞬です。

「ただ、忙しいお父さん、お母さんは 時には 1時のお迎えに遅れてしまう」ともありません。時には スタッフの他のお母さんに せよ一言連絡して 変わっていただけの と思います。～ちからのお母さんもうすぐ来るからね。それまで～ちからのお母さんに 抱っこ ぎゅーしてしてもらおう...と話していた。子ども達には きっと 安心できることでした。

収穫感謝のお餅つき、美味しくいただきましたね！ 田んぼの一年を振り返りつつ、美味しい、楽しい、うれしいひとときでした。これから 田んぼに わらや米ぬかを でき込み 田んぼの 冬に 戻ります。冬の間も 田んぼに 水を 入れ、微生物に 土を肥やしてもらいます。田んぼの 冬景色、色も きれいな 景色は 素敵です。
：美和子

* これから 本格的に 寒さが やってきます。霜や雪で 手足が ぬれちゃいけません。持参のもの リンクには 以下のものを 必ず入れてください。お返しはいたしません。
 ・ 耳当てが できる 暖かい 帽子 ・ 手袋と 手袋の 替え (できれば 2セット)
 ・ 厚手の 暖かい つま先 替え (できれば 2セット) ・ 替えの 靴。

* 先日 お餅つきを しましたので、12月18日の 二学期最終日、親子ランチは ありません。ご予定ください。





ぴっぴだより

No.10 2009.12.18

今年もぴっぴの皆さんと心を合わせ子ども達の成長を分かち合えまたたくさん友えられ嬉しい一年でした。

それぞれのご家庭で喜びと感謝に満ちたクリスマスを迎えられますように。そして新しい思いで新しい年をお迎え下さい。

* 3学期の保育日

1月	12(火)	13(水)	15(金)	19(火)	20(水)	22(金)	26(火)	27(水)	29(金)
2月	2(火)	3(水)	5(金)	9(火)	10(水)	12(金)	16(火)	17(水)	19(金)
		23(火)	24(水)	26(金)					
3月	2(火)	3(水)	5(金)	9(火)	10(水)	12(金)	16(火)	17(水)	19(金)

* 講演会のお知らせ

ぴっぴ主催で今回講演会を開きます。りんごの木代表であり、絵本「けんかのきもち」(日本絵本大賞受賞)や「子育てを楽しめる本」「子どもを叱りたくらから読む本」……等多数の著書があり、まゆの友人でもある柴田愛子さんを招きます。2月28日(日)PMです。どうぞ今からご予約に入れています。ご友人や知人の方をたくさんお誘いください。

* 3学期の予定

- ・ 一月末ごろ。染色・織物の工房「11クラフト」の岡美幸さんを講師にお迎えして「染めものワークショップ」を予定しています。吉祥寺田舎まに後日プリントでお知らせします。
- ・ 3月19日(金)の今年度ぴっぴ最終日「ありがとうの会」は、一日親子一緒に過ごします。どうぞご予約ください。



2学期も お友達 家族 保育者... そして 自然の中から毎日新しい発見をして 体も心もたくましくなった子ども達。
 「友だちといっしょに遊びたい」「○○遊びがしたい」など一人ひとりがそれぞれの思いを持って登園し みんながカー杯遊び 共に喜ぶことが出来ました。遊びを通して うまいかよかった時に自分なりに 折り合いをつけることの大切さや 悲しいことがあった時にこそ その友達がいることの大切さを感じる機会もたくさんありました。遊びこめる時に 充分遊ばせてあげたいですね。この仲間の時間もあと3ヶ月。お互いの存在がかけがえのないものになるよう 毎日の生活を丁寧に積み重ねたいと思います。

楽しんで 歌

おはよう パレード かめの遠足 にじ
 はたけのポルカ 特急ロマンスカー
 ハッピーチルドレン 雨ふりくまのこ しずかほクリスマス
 さよならの歌いっしょ。 かまぐちトントン おはようの歌いっしょ

楽しんで 遊び

虫捕り ごっこ遊び 縄跳び トランポリン
 木登り 探検 泥んこ クイズ しりとり
 川遊び かくだんぼ 家作り 基地作り
 あぶくたつ煮えたつた。 粘土 図鑑調べ リレー
 茎のお相撲 鬼ごっこ つるつる石にお絵描き
 はないちもんめ。 すずいすいころぼし かごめかごめ
 水たまりレンズ探し 鉄棒 だるまさんかころんだ
 崖滑り グリコ 地面にお絵描き おっ遊び
 えかきうた

楽しんで 手遊び

パン屋に五つのメロンパン ケックリック 4オ 手話
 やおやのお店 十五夜さんの餅つき

製作

パクパク人形 ビュービューごま うちわ にじみ絵
 楽器 こり絵 おめん ぬいこし クリスマスリース

楽しんで 絵本 ほんの一部

ぐりぐりシリーズ たろろシリーズ かぼくんシリーズ ちびくろさんぼ
 まあちゃんシリーズ やぎのほかシリーズ ちよろりんシリーズ
 ハリシリーズ その他たくさん

お誕生日の つまりのプレゼント (いただいたもの)

英菜ちゃん うさぎのぬいぐるみ ほくがつつた4チョコレートケーキ
 お花のネックレス
 康生くん メロンパン だいすきなチョコレートケーキ
 シンケンジャーのお持ち物。 空をとべる羽根
 久道くん 怪獣の動くやつ。 怪獣の絵の エッセイ
 うさぎのお人形 字がいろいろ書いてある絵本

3学期 保育日

1月	14日(木)	18日(月)	21日(木)	25日(月)	28日(木)	
2月	1日(月)	4日(木)	8日(月)	15日(月)	18日(木)	22日(月)
		25日(木)				
3月	1日(月)	4日(木)	8日(月)	11日(木)	15日(月)	18日(木)





かせひき こぎつね

こぎつね しりし

しんしんさむい よるでした ちらちらゆきも ぶってま
 ぽやぽや ついに ハックション コンコンセキも ぞちやつたよ
 ゆきや あられは コンコンコン いずみもわきだレ コンコンコン
 だれかが どびらを コンコンコン ぼくもたこん コンコンコン
 いそは 「コンコン あられと」 たいはうが「い コンコン」は
 かせひき こぎつねの 「コンコン」は やく げんき= たーあれ!

<どうして= のはうにTV

1/17(日)に ぴっぴ主催の 第4回 長野県野外保育研究会が開かれ
 ました。AMは 大人も子どもも みんなで わらべうた あそび... 心も体も融け合
 って、暖かくおてから4時、そしてPMは、大人は 自分と向きあつたり 話
 し合ひの時... その間 子ども達は、純見スタッフと 雪遊び... 「とてよく
 遊ぶ。さすが 外遊びの達人たち!」と 純見スタッフが 驚いていました。

2歳から 外遊び三昧の ぴっぴの子どもたち... 一人一人の 落ち着きや
 関わり の深さを みてみると、一年の 充実期 に入っているように 思いました。共
 に 遊ぶことは、心を育てる 大切な時間 だと 感じました。

先日 遊んでいる中、振り向いた瞬間、友希ちゃんと 大李くんが
 ぶつこ... 即座に ①「大丈夫?」と ②に... ③も 痛かったでしょうに...
 痛いところを ぶつこった ④は 一瞬 びっくりした様子... ⑤は 笑顔で ⑥「だ
 いちゃんも 大丈夫?」と... 怒ったり 泣いたり して しゃべっている場面が、こ
 れは 小さな大李くんから 教えられること、大きな子どもも みんなで育ち
 合っていること を 感じた時でした。

ぴっぴハウスが 大好きな みんな... 特別 集団あそびが 充実してきた近
 頃、たかたか ちががが ありたいわ。あつ組の子は、干し柿、各々
 干してある 干し柿を 取ってラン4場所へ 向かう という ことになって、一足先
 に 準備が 外へ 出る 菜々子、みんな 大変! 七ヨリが 干し柿を 食べちゃ



た!」と... ちががの みんなが、着がえの 速いよ! 速いよ!! 食べるよ
 が 大好きな ぴっぴの みんならしい エピソードでした。 : 真弓

寒い寒いこの時期の外遊びには、少し工夫が必要です。スプーンや
 フォークを使うメニューは、器の中味も手袋を外して手先もすくりに冷めて、
 寒いよ...と涙の人が見えて、温かい汁もあつという間に冷めてしまったり。
 テーブルとイスにじと座っていると、体が冷えてしまうので、子どもは 焚き火のそば
 で、焚き火を 手で ぽくぽくと 食べられるメニューが 中心に 2つあります。焚き火のそば
 に ホットサンドウィッチ、カップに入れて さつと 食べる お味噌汁、パチパチ
 焚き火の音と 聞きながら 美味しい香り が 漂い始めると、「まだ
 焼けてる?」「もうできた?」「いただきます!」 3学期に入り、食べる
 意欲も “充実期”。おゆさん特製(ほうれん草オムレツ)は、野菜の
 苦手な人も 心置き 平らげ、たかさん作って 焚き火のそばに 食べる という
 間に 売れ切れ。厳しい寒さの中でも 体を動かして たかさん 遊ばせ
 さんと お腹が 空く たかさん と 実感する日々です。 : 美和子

・2月28日(日)「おとしぶめの会 柴田愛子さん講演会」のお申し
 込めは、ぴっぴの 皆さまも 干し柿に記載してある アドレスに、メールで
 お申し込みください。その際には お名前・ご連絡先・参加人数等
 お書き添え いただきますよう お願いたします。

・新年度の ぴっぴは、4月9日(金)に入園の 集いを行います。
 この日は 一日親子一緒に 遊べ、ランチも 皆でいっていただきます。
 登園時間は 朝9時30分、降園時間は 午後12時30分です。
 新年度も 継続参加の方には どうぞ ご予定ください。





ぴっぴだより NO.11 2010.3.19



めをさましたら

こりすすみえ

めをさましたら いつものあさとたんたかちがう
たんたろう? はぜだろう?
いつもより しっぽのさきが ふかふかしているせいかしら
からだのしほしまが つやつやしているせいかしら。
そして いつもより たいかた あいたくするせいかしら。
わたしはそと そとEのぞいておきた ああ いいかい!
やわらかい かぜ やさしいそら そうたんた
めをさましたら はぜだした!

ある日のぴっぴ.....

- ほかほか陽気が少しづつ溶けていく雪だるまを見ながら... 麗史奈ちゃん「雪だるまさん 残念ね。かかえうね」来て。駐車場横の林で... (麗)「木が切られちゃうわ。早くはたけねと雪だるまよりかかえうね...」
- お料理づくりで 湖晴ちゃんと友希乃ちゃんが 器の取り合い... (湖)「か〜して〜!」 (友)「だ〜め〜!」 (湖)「か〜して〜!」 (友)「だ〜め〜!」 (湖)「だめっていいわね!」 (友)「は...」二人「あれ?!」と顔を見合わせ笑い合っている。
- ぴっぴにはよくお客様がいらっしやいす。声をかけ 知事までくねのが 偉太くん。信濃毎日の記者さんに (偉)「いっしょに手をつなごう!」 (記)「どうして?」 (偉)「だって かんぱでいっしょにさつぱらえしやうよ〜!」 (記)もかみかしのエピソードを話さるち...
- かくだんほ"か" 大好きな 涼力弥くん。かくだることのうまは 知人級! 大人でも 何となく見つげられ「二の字見つげられたいなら...」とドキドキも... 刺戟された 何人かは (涼)から かくだ場所。かくだ方... を教えてもらっている。



- ⑩ハウスの中での 英奈ちゃんと 玲月ちゃんの プリンセスごっこは キッチンテーブルの下... (ごめだらけのプリンセス??) 時々 康生くん. 涼力弥くん. 慧海くん. 和弥くん. 偉太くんが「ウォーガオー!!」と乱入。 (玲)「おひめさまだからやめて〜!」プリンセスに扮している (英)は. プリンセスの口調で (涼)「無礼者!!」... (和)「グレイモって何?」
- 英奈ちゃんが 玲月に しゃくりあげて泣いた時... 近くで くんちゃんのお着がえを 楽しんでいた 紗菜ちゃんか" さつと ティッシュを (英)にさし出す。何を言ってる" 手一太くん くんちゃんのお着がえをしている。そのさげは (英)Eでんたに 慰めてくれたとさ。
- お友だち二人が「和の!」「ごめごめ!」と少しおどろいて。そばにいた 久道くん「ごめごめ!」は「おれだ!」康生くん「おれさういふおれだ!」 (和)「おれさういふおれだ!」なら何て... たら...」 (和)と (久)は 顔を見合わせて 考え合っている...
- たいかたが泣いた時に出てる 神工の魔法のハンカチ。大泣きしていた 園隆くんも 手には笑顔に変身!! (園)「おれね!!」 海入のこちゃん (海)の 帽子を見ては 顔をEそつとハンカチを撫でると 笑顔になる (園)「おれね!!」 園隆くんは 泣き止んで 走り出す。慧海くんは「神工の魔法のハンカチは?」と... 涼Eと手と 遊んで行くとおれだ。みんなが 神工のハンカチに 本当の魔法E かけられたさ。
- ⑩が 涼力弥くん. 大季くん. 湖晴ちゃんと 魚屋さんごっこしてると。「森へ行くのさ...」と 康生くん。 (康)「どの森? 神工は今...」と 遊んでるの行かぬから。たいかた大人を誘って 行くのさ (康)「おれね...」 友希乃ちゃんもさ。 (康)「森へ行くのさ...」 (友)「え...?」 手がつた!! と 思った 康生くん。 (康)の顔を 見て 泣き止むさ。
- 大季くんの 魚屋さんは 毎日 魚を ざらざら (ソリ)に 乗せて 売り歩いていす。お城ごっこは 何となく... 1ヶ月間... 戦いの... 八風山... の魚を 買っていった。雪がある間 魚屋さんは 売りに 来ると 思っている。
- たいかたが かくだんほ"か"。初め「かくだんほ"か"」と言っていた 麗史奈ちゃん。 (麗)「かくだんほ"か"」と 話して 一緒に 手をつなごうと ツツジの後へ。二人で 体E 小はく丸めて 「うふふ...」と 笑い合っている...

・春のふり仮装持ちのふい あたにかい朝. 康生ちゃんの「かくはんご」やりた「紙」を
 して ことらんの「ハ風山ご」にまをした〜い」というのを聞いていた(ま)
 和はふりの集りのあと. (ま)「かくはんご」やりた人は(康)のほこ入集りしてね. 此
 あ = とらんの「ハ風山ご」に可子人の指と紙をのりしてね(康)も(ま)も持た
 って立ち上り. なんと嬉しゅうに移動した. 行ったのは. 健太ちゃんと紗
 菜ちゃんと(ま). (ま)「健太ちゃん. 何したいの?」(健)「うわ!!」くっさ 笑ったのは
 (紗). (ま)「この三人が昼寝して何が. 絵本読んでくる?」(健)(紗)「うん!」
 三人でコービーの麻袋を敷いて. (健)と(ま)は寝ようかって. (紗)は座ったまま絵
 本を見始めました. とうとう(健)はあくびを始め. みんな遠くで遊び始
 めた静かな新ご 三人が(ま) (ま) おひさまに包まれていました.

2009年度も たくさんの関わりがありました. 一人一人の子ども達はふた
 わい時にふたわいふただけ育つてたふり仮装がしやす. 15人の子ども達と たく
 さん笑い たくさん話し たくさん考えた一年... 共に歩めて幸せでした.
 お父さま お母さまには あたにかいご協力を たくさんいただき 本当にありが
 とうございました. ぴっぴを巣立っていく方々も ぴっぴファミリーの一員として. 未長
 くおつき合いくださね. たくさんの感謝をこめて 行ってらっしゃ〜い!

まゆ・わか・なな・しん

継続の方へのお知らせ

- ・ぴっぴ入園の集いは 4月9日(金) 9:30 ~ 12:30
親子いっしょに 過ごします.
- ・ぴっぴ継続見は 4月より 降園時間か 11:30にしたり.
(新入園見は しばらく 12:30 降園です)
- ・おつきいくおは. 4月12日(月)から 始まります. 9:30 ~ 1:30
ぴっぴの荷物 + お弁当 + 水筒を お持ち下さい.

